

当別町の新しい総合計画の策定に向けた考え方

当別町企画部企画課

2020年度を始期とする当別町の新しい総合計画の策定に向けた考え方を次のとおりとする。

1 計画の性格

第5次当別町総合計画が概ね10年の計画期間を経過したことに伴い、当別町の政策の基本的な方向を総合的に示すとともに、町民共通の指針としての性格を持つものとして策定する。

また、「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策を十分に踏まえ、人口減少の課題に対応したまちづくりを念頭に置いたものとする。

2 計画策定の背景・意義

(1) 背景

- 人口減少社会の進行と地方創生の推進
- 中長期的な町財源の不足
- 少子化・高齢化の急速な進行
- 医療・福祉を取り巻く環境の変化
- 環境・エネルギー・公共交通に関する課題のクローズアップ
- 北海道全体の経済・雇用の回復の遅れ
- 当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略が計画期間の最終年度を迎える

(2) 意義

- 第5次当別町総合計画及び当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、町政を運営してきたが、急速に進行している人口減少の現状を踏まえ、これからの当別町を改めて見据えたものを提示する。
- 地方創生の推進により人口減少問題を解決すべく、自らのまちの将来像をデザインし、実現させていくプランを描く。
- まちの将来を担う人材の育成を目指して、乳幼児から高齢者までの幅広い人づくりのあり方を描く。
- 少子化・高齢化を受けとめるとともに、「人生100年時代」を見据えて、地域で支え合い、健康で心豊かな暮らしができる住みよい当別町を描く。
- 環境・エネルギー・公共交通など、当別町のみならず、北海道内、国内の様々な課題を重く受け止め、積極的な課題解決に向け、町民が一体となって進めるべき行動指針を提示する。
- 域内循環・企業誘致などにより農業・商工業を中心とした産業の活性化に向けた町民行動目標を掲げ、活力あるまちづくりを推進する礎とする。

3 計画策定を進めるにあたっての考え方

(1) 基本的な考え方

策定の背景や意義を踏まえ、新しい総合計画の策定については、次の点に留意して進めることとする。

ア 長期的視点に立ったビジョンと目標設定を提示する。

- イ 目標実現に向けた重点的な取り組みを明確化する。
- ウ 町民誰もが分かりやすい構成や内容になることを重視する。

(2) 計画の期間

長期的視点に立ったビジョンを示す観点から、計画の期間は、2020年度から概ね10年とする。

(3) 計画の構成

全体を「基本構想編」及び「総合戦略編」の2部で構成する。

- 基本構想編は、当別町を目指すべき将来像とそれに向けた政策展開について基本的な考え方を記述する。
- 総合戦略編は、当別町の地方創生を実現させるべく戦略的な視点に立ち推進している「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を見直し及び2020年度からの第2期戦略として策定し、総合計画と連動し包含したものとして構成する。
- 個別具体的な施策・事業は、総合戦略編で示すとともに、時間の経過に伴う社会情勢の変化に柔軟に対応できるように、各分野ごとの個別計画等に委ねる部分もあるものとする。

(4) 策定後の計画の推進管理

策定した総合計画の推進にあたっては、当別町まち・ひと・しごと総合戦略の推進管理をもって推進状況を確認していくものとする。

4 町民の参画

「当別町パブリックインボルブメント手続に関する方針」の考え方にに基づき、広く町民の参画を得るように努める。

- ア 条例に基づき、公募委員を含めた「当別町総合計画審議会」を設置
- イ 計画案に対するパブリックコメント（意見公募）を実施
- ウ グループインタビュー等を実施し、積極的に住民意見を聴取

5 策定の流れ

策定期間は、2019年度の1ヶ年度とする。

